

**令和6年度
伊予消防等事務組合重点施策**



伊予消防等事務組合

はじめに

この重点施策は、伊予消防等事務組合が令和6年度において重点的に取り組む方針であり、本組合行政を円滑に運営するための指針となるものです。

年を追うごとに防災・減災に対する住民の関心が高まる中、我々消防機関には、全国各地で頻発する自然災害や、今後発生が危惧される南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対応とその備えが強く求められています。

当組合におきましても、地域住民が安心して暮らせる「安全で安心な住みよい町・伊予地区」の実現を目指し、住民から信頼される消防体制を推進するため、下記の重点施策5項目を策定しました。

この重点施策に基づき、職員が一致団結し総力をあげて取り組み、効率的かつ質の高い消防行政サービスの提供を目指します。

令和6年度伊予消防等事務組合重点施策

- 1 大規模災害等に備えた警防体制の強化
- 2 火災から生命と財産を守るための予防対策の強化
- 3 地域住民から信頼される消防組織体制の強化
- 4 伊予地区広域斎場「聖浄苑」改築事業及び松山圏域消防指令センター整備事業の完遂と円滑な施設運営
- 5 広田出張所改築事業の推進

1 伊予消防等事務組合重点施策

1 大規模災害等に備えた警防体制の強化

近い将来において発生が危惧される南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模地震、大型台風の襲来や局地的な集中豪雨等により激甚化する自然災害、そして多様化する救急事案等の住民生活への脅威から地域住民の生命身体及び財産を守るため、警防体制の更なる強化を図ってまいります。

(1) 大規模・多様化する災害に対する専門部隊の強化

- ① 現場の統括、部隊の運用管理、情報収集等を行う現場指揮体制の強化
- ② 実災害に即した想定訓練による知識及び技術の向上
- ③ 消防の知識及び技術を持った暫定再任用職員の効果的な配置

(2) 災害対応力の強化

- ① 各種訓練による災害対応能力の更なる向上
- ② 災害実態に応じた迅速かつ的確で効果的な現場活動体制の強化
- ③ 過去の事故等の安全管理に係る教訓に基づく危機回避能力の向上
- ④ 防災関係機関との情報共有や合同災害対応訓練等による連携協力体制の更なる強化
- ⑤ 過去の災害発生場所及び災害危険箇所の検証に基づく災害即応能力の向上

(3) 応援・受援体制の強化

- ① 緊急消防援助隊の訓練による知識及び技術の強化
- ② 緊急消防援助隊の応援・受援計画の検証及び見直しによる即応体制の強化
- ③ 構成市町災害対策本部及び各消防団と連携した災害対応力の強化
- ④ 各防災関係機関との協議調整等による応援・受援体制の更なる強化

(4) 救急体制の強化

- ① 応急手当普及啓発活動及び救急需要対策の推進
- ② 救急業務高度化の推進
- ③ 救急行政機関及び救急病院等の関係医療機関との連携協力体制強化

2 火災から生命と財産を守るための予防対策の強化

住宅及び事業者の防災対策を強化し、火災による生命と財産を守り被害の軽減を目的として火災予防対策に努めてまいります。

(1) 住宅防火対策の強化

高齢者化や核家族化に伴い、高齢者のみの世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しております。全国的に住宅火災での死傷者に高齢者が多いことから、積極的に住宅防火対策の普及啓発を行い、安全・安心で快適な地域づくりに貢献してまいります。

① 防火訪問の実施

火災予防週間等の機会に、高齢者のみの世帯や一人暮らし高齢者世帯宅を防火訪問し、住宅用火災警報器の設置、防災物品の使用、初期消火及び避難の方法、火気の安全な取扱い等火災から身を守るための方法を具体的に指導します。

② 安心・安全アドバイザー研修の開催

消防本部や社会福祉施設等において、介護士及びホームヘルパー等を対象に「安心・安全アドバイザー研修」等を開催し、防火や防災、救急事故対策について、高齢者等要配慮者に対して適切なアドバイスができるアドバイザーの育成を行います。

(2) 防火対象物の防火対策の徹底

防火対象物への査察は、火災等の災害を未然に防ぎ、万一発生した場合に被害を最小限に留められるよう、消防法令違反及び火災予防上の欠陥を把握し、違反がある事業所に対しては是正指導を行います。

また、消防法令上の危険物は、その貯蔵、取扱いを誤ると大規模な災害となり、近隣の地域住民に対しても甚大な被害を及ぼす危険性があるため、危険物施設に対する安全対策の徹底を図っていきます。

(3) 火災原因調査体制の強化

火災原因調査業務の更なるレベルアップを図るために、調査技術会議等への参加や研修会の実施を積極的に行い、調査員の知識や技術等の向上に努め、火災原因調査体制の強化を図っていきます。

3 地域住民から信頼される消防組織体制の強化

組織体制の強化として、人材育成、健康管理体制の充実と職員の効率的な配置を行い、職員一人ひとりが活躍できる組織体制を目指します。

また、近年の複雑多様化・激甚化する各種災害から地域の安心安全を守り、地域の信頼と負託に応え質の高い行政サービスを提供できる職員を育成します。

(1) 人材育成の強化

① 消防行政分野

職務の遂行に必要な専門的知識と技術を有する職員を育てるため、消防大学校等の研修機関へ入校させ、より高度な専門的知識及び最新の技術の習得など、人材育成に努めます。

② 一般行政分野

事務局職員を中心として、愛媛県研修所への入所研修を実施し、適切かつ適正な行政対応が行える職員の育成に努めます。

更に、これらの外部機関研修の成果を確実に職場へフィードバックさせるためのOJT制度を強化し、全職員の質の向上を目指すとともに地域住民から信頼される職員の育成を図ることとします。

(2) 健康管理体制の充実

健康診断の結果に基づき産業医と連携を図り、職員の健康管理体制を構築するとともに、健康管理に関する各種講習等を積極的に受講し、職員一人ひとりが心身ともに健康状態が整った組織運営を目指します。

(3) 女性消防吏員

女性消防吏員に対する住民ニーズが高まる中、災害現場における安全対策や産休・育休等に配慮した勤務体制を確保し、女性消防吏員が安心して活躍できる組織の現実を目指し、多くの女性が働きたいと思える消防組織の実現に努めます。

(4) ハラスメント撲滅対策

近年社会的に問題となっているハラスメント等の公務員の不祥事問題に関して重点事項と位置付け、指導体制の更なる強化を図ることとし、地域住民の信頼を損ねることのない組織体制の構築を図ってまいります。

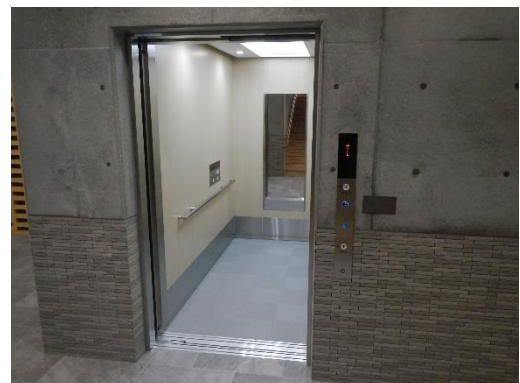
4 伊予地区広域斎場「聖浄苑」改築事業及び松山圏域消防指令センター整備事業の完遂と円滑な施設運営

(1) 聖浄苑改築事業

聖浄苑改築事業に関しましては、令和3年2月25日に着手した本事業も順調に進み、令和6年3月1日から新斎場での供用開始となっております。

落ち着きと安らぎを感じる諸室、他葬家と出会わないための施設構想（2ブロック2ウェイ構想）により、機能的で利便性の高い施設が完成いたしました。また、高齢者や障害者等の方にも安心して来苑していただくため、館内のバリアフリー化や2台のエレベーターを設置し、円滑な移動等に配慮した施設となっております。

令和6年度は一部の付帯工事と外構工事を進める予定で、施工業者及び各関係機関と協議調整を行い、適切な施工監理による事業完遂を目指すとともに、円滑な施設運営を行ってまいります。



(2) 松山圏域消防指令センター整備事業

伊予消防等事務組合消防本部・松山市消防局・東温市消防本部の中予地区3消防本部では、複雑多様化・大規模化する災害に迅速かつ適切に対応するため、松山圏域消防指令センターを松山市消防局の5階に整備し、令和6年4月1日から運用を開始いたします。

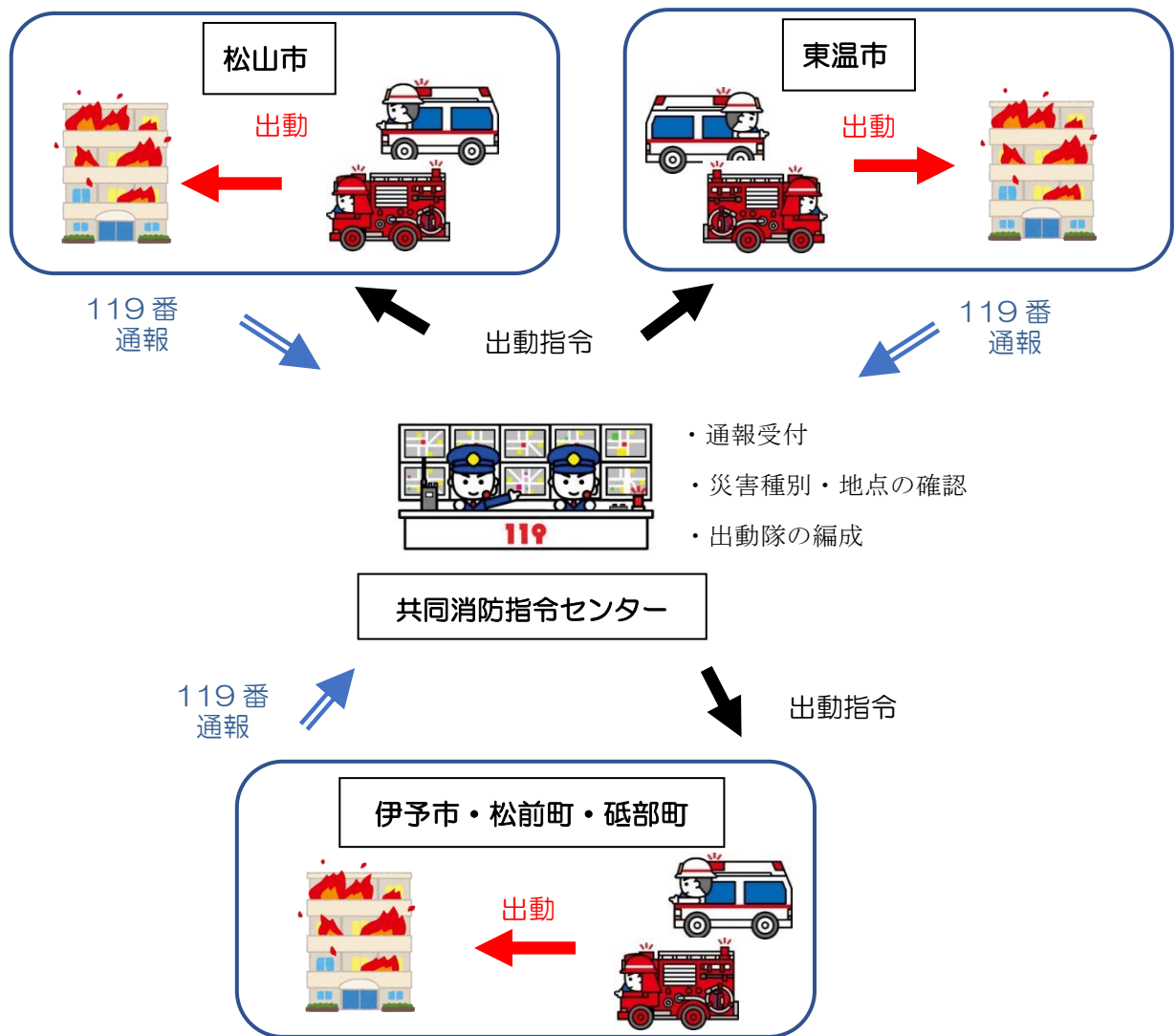
119番通報の受付や、消防・救急車の出動指令などを共同で行い、複雑で多様化する災害に対し広域的に対応することとなります。

消防指令センターシステム構築業務は完了しておりますが、消防救急デジタル無線設備更新事業は令和5年度からの継続事業となっております。

令和6年度は、全ての整備事業の完遂を目指すとともに、関係機関との協議調整により円滑な運用体制の構築を図ってまいります。



○消防指令業務共同運用のイメージ



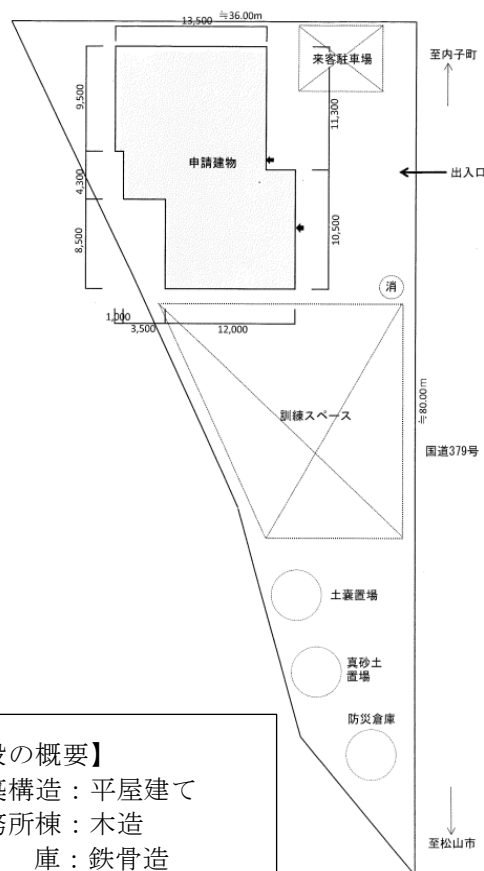
5 広田出張所改築事業の推進

現在の広田出張所は、築後30年が経過し老朽化が著しいうえ、立地場所が土砂災害の危険地帯にあり、防災拠点として重要な役割や機能を果たすことが難しい状況でありましたので、広田出張所の建替えを検討し、令和5年度には建設予定地の選定を行い、基本設計を完了しております。

令和6年度は引き続き実施設計を進め、新庁舎の建設工事に着工する予定としております。令和7年9月1日の供用開始に向けて、施工業者及び各関係機関と協議調整を行い、適切な施工監理に努め事業の進捗を図ってまいります。

令和6年度の予定

- ① 実施設計（令和5年度からの継続事業）
- ② 庁舎建設工事
- ③ デジタル無線現地調査及び移設工事



2 取り組むべき主な課題

近年社会問題となっている消防組織におけるハラスメント問題や定年延長等による職員の高齢化など、多くの組織的な課題を抱えているのが現状です。消防組織を適正かつ円滑に運営していくために、次の課題を組織運営における取り組むべき課題として検討してまいります。

(1) 職場環境の整備

消防職員としての自覚及び目的意識の涵養、積極的な自己研鑽の奨励に努めるとともに、メンタルヘルスを含む健康管理やハラスメントの無い職場環境の整備を検討します。

また、今後の定年延長等により職員の高齢化が進み、現場活動人員確保及び活動体制整備が困難となる場合が考えられますので、より効率的で効果的な組織運営を検討します。

(2) 救急隊員の労務管理の検証

近年の救急隊員の現場活動においては、社会的な高齢化や感染症等の影響により、救急件数及び活動時間ともに増大しております。現場活動での事故防止の観点から、救急隊員の業務負担軽減に努め、適正な労務管理が行えるよう今後の出動体制等を検討します。

(3) 消防車両等の適正かつ効率的な更新整備

今後、配備車両の多くが更新規定年数に順次到達していくため、車両更新及び整備計画に基づき、効率的かつ効果的な車両配備及び更新計画を検討します。